

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタジオそら東中野		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日 ~ 2024年 12月 2日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日 ~ 2024年 11月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	<ul style="list-style-type: none"> 内容を説明後に保護者と考えのすり合わせを行い支援計画の内容と保護者のニーズが合っているか確認を行っています。 支援計画の短期目標も説明をし、どういった活動を行うかの説明も保護者が疑問に感じた際に説明を行っています。 	引き続き、丁寧な面談を心掛けて参ります。また、支援計画の内容に即した活動の例もお伝えし保護者がイメージしやすい説明を行って参ります。
2	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 活動前には職員間で情報共有を行い、個別支援計画の内容の進捗状況を確認しています。 前回内容を都度確認し活動を行った際の様子も職員間で共有しています。 	引き続き、個別支援計画に沿って支援を行い、児童が楽しめる内容を実施して参ります。
3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 備品の補充は気づいた際に職員全員が行っています。 毎日の清掃と一か月に一度クレンリネスを行い、その際に道具の整理や視覚補助の調節を行っています。 	引き続き、職員全員でクレンリネスや清掃を行い、環境設定を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	プログラムとしてペアレントトレーニングや研修会は行っていないため、機会は少ないです。	<ul style="list-style-type: none"> ご相談等ある際はフィードバック時や個別に面談をさせていただき、お困りごとや自宅で出来るトレーニングなどをご提案できるように職員のスキルアップに努めます。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	保護者会などは実施していないため、機会は少ないです。きょうだいどちらかがイベントに参加いただいた場合に一緒に参加が可能な場合もございますが、きょうだい向けのイベントは実施しておりません。	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援として面談等の実施に努めます。 イベントにてきょうだいでのご参加が可能な場合は、引き続き参加のお誘いをさせていただきます。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	事業所の待ち合いに掲示をしたり、メール配信などを行っておりますが、十分に周知はされておられません。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、情報の発信と保護者への周知を行って参ります。 ホームページやSNSの掲示を行っておりますが、今後も保護者への発信を行います。

【公表】保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名	スタジオそら東中野
------	-----------

公表日 2025年3月1日

利用児童数 36

回収数

27

回収率

75.00%

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	4	0	0	・使い方も、小部屋と分けてくれて広々使えてよいです ・限られたスペースを有効につかえるよう工夫されていると思います。	各部屋やスペースの使い方を工夫しながら、安全に配慮した効率的な活動が実施できるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1	0	0	・常に何名かの先生がいてくださり、フィードバック中もほかの先生が子どもを見てくださいたりして、手厚いと感じています。 ・たまに活動に付き添って下さっている先生は少ない時もあるので、フリーの先生が入りづらいのもいいと思います。	法令上の配置基準を満たしております。職員の欠勤がある際も対応できるよう、社内で連携しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	4	2	1	・身体を動かして遊ぶ「大きい部屋」、机上で遊ぶ「小さい部屋」に別れているのがとてもわかりやすく良いと思います。 ・トイレの段差が気になる。	事業所内の構造化に努めております。建物の構造上、バリアフリーではない箇所がございますので、何かお手伝いが必要な場合はお気軽にお声がけください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	25	2	0	0	・手洗い場には石鹸、紙ナプキンが常備されており清潔です。 ・部屋も床も絨毯で子どもが寝転がっても安心です。 ・施設は綺麗とは言えませんが、清潔にされていると思います。	引き続き、清潔で心地よく過ごせる環境を目指します。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	3	0	1	・作業療法士の有資格者に療育の対応をしてもらえるわけではないですが、カリキュラムは特性に合わせた物にだんだんと沿ってきていると思います。 ・子どもの特性にあわせて療育が行われています。癇癪を起こしてもその時の状況によってスタッフの方がきちんと対応していただけています。	社内研修の充実を図り、より支援の質を向上できるよう努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1	0	5	・身体を動かすいろいろな遊びを取り入れて下さっているので、子供も楽しんで活動しているように思います。	HPにて支援プログラムを公表しております。お子さま一人ひとりに合わせた支援ができるよう努めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	24	2	0	1	・「客観的」な分析は特になく、こちらからの要望や希望がそのままな気がします。 ・「客観的」な助言や提案がもう少しいただけたとありがたいです。 ・十分理解し計画作成して下さっている。保護者からのモニタリングが丁寧で、第三者から子供をよく分析して下さるため、家での関わり方も変わったと思う。	引き続き、保護者さま・お子さまのニーズを聞き取り、必要な支援ができるよう支援計画の立案を行います。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	5	・集団での活動機会がもっと増えるとありがたいです。 ・子どもの家庭での困ったとき心配なときの対応の仕方などを教えていただいています。	より良い支援ができるよう、お子さまに必要な支援内容について具体的に設定できるよう努めてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	0	0	1	・いろいろな先生と遊ぶことができているので、人見知りも少なくなってきたかな?と思われそうです。 ・苦手なことを改善できるように、様々な視点から見てくださいと思う。	打ち合わせや振り返りを行い、より充実した支援ができるよう努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1	1	1	・毎回様々な内容を取り入れて下さり、子供が飽きずに楽しんで取り組んでいると思う。 ・もう少し色々やってくれたほうが、子供が飽きなくていいかもしないです。	引き続き、お子さまの状態にも寄り添いながら、目的や意図に応じてプログラム内容を検討・実施してまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	12	8	・他園との連携機会はない認識です。	ニーズが少ないため事業所内での交流はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	1	0	1	・別室で丁寧な説明があった。 ・専門用語が多い気はしますが、初めてのことで、こちらも少しずつ勉強しようと思います。	引き続き、丁寧で分かりやすい説明に努めてまいります。	
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0	・不安がないように丁寧に説明していただきました。 ・丁寧に説明を受けました。	引き続き、面談の際に丁寧な説明を心がけてまいります。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	5	3	15	・親同士の交流会があってもいい気がします。 ・掲示物などされている	プログラムとしてペアレントトレーニングは行っていませんが、ご相談等ある場合には個別に対応しております。今後も、何かございましたらお気軽にご相談ください。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	4	0	0	・自宅の様子などを聞いてくれたり、指導者が気づいたことを伝えてくれたりします。 ・フィードバックがいつも一方的なもので少し相互理解につながるような会話をする時間があるのかなと思います。 ・子供の発達の状況などは毎回分りやすく伝えていただき、親も状況を理解しやすいです。	フィードバックの時間を設けておりますが、それ以外でも何かございましたらお気軽にご相談ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	5	4	2	・3ヶ月に1回くらいは先生と話す機会(15分くらい?)があるとありがたいです。 ・前向き、丁寧な言葉掛けが多いと感じている ・毎回その日の振り返りをして下さるため、先生と話す時間が十分にある。	支援計画の更新に合わせ、定期的に面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がある際など、お気軽にお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	5	0	1	・子供との関わりで悩んでいることを相談し、アドバイスをしてくださるため助かっています。 ・子供によく寄り添っていただいています。 ・否定を受けることなく、寄り添った共感的な支援を受けています。	引き続き、ご家族やお子さまの状況に寄り添った支援ができるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	1	3	13	10	・保護者同士の交流会、あるといいな。 ・家族への支援はないと思う	ニーズが少ないため実施はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2	1	9	・相談するとしつかり最後まで対応いただけています。 ・今回こちらに通い始めたきっかけの一つが、迅速なご連絡と丁寧な対応だった。 ・固定枠の変更や急に休んだ際の振替等、迅速に対応していただけました。	お気軽に相談いただけるような環境を整えることを意識しております。お話しいただいた内容につきましては迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2	0	0	・マンツーマン対応とは言え、大部屋で数人で活動しているため、最後の振り返りの際に他の話も聞こえてくる。他には聞かれない話をする際は別室で話すなどの対応をしてくだされば問題ないと思う。 ・子供・親含め問題なく情報伝達の配慮を受けています。 ・メールで細やかに発信してくださり助かってます	今後も密接に連携が取れるよう、コミュニケーションを取ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	3	1	9	・事業所に通信が貼ってあるかと思いますが、メールでも配信してもらえるとありがたいです。 ・来月の予定などは前月にアンケートで活動内容を教えてもらっています。	HPに「そら通信」を掲載し、事業所の活動紹介や、自己評価結果の発信を行っております。今後も周知に努めてまいります。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1	1	0	・説明は別室でして下さるため問題ない。 ・契約書など、封をして返して下さったのは丁寧だと思いました ・同じクラスの子にはハシしていると思う。	引き続き、個人情報の取り扱いについて十分に留意してまいります。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1	0	5	・玄関入ってすぐの場所に手に取れるように置いてありますし、貼り出しもしてあります。 ・きちんとしたマニュアルなどが設定されていると思います。また説明も受けています。 ・実施をアナウンスしてくださっている	各種マニュアルは待合室に備え付けてあります。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	5	0	6	・ちゃんと避難訓練してて感心しました ・避難訓練に参加しました。 ・また避難訓練の日に当たったことがないためわからない。	定期的に避難訓練を実施しております。会員の皆様にも参加のご協力をお願いいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1	0	2	・安全確保がしっかりなされているので、親も安心して子供を任せられます。 ・日頃からドアの施錠等、子供の飛び出しなどには気をつけてもらっていると思います。	安全管理計画を策定し、社内研修を行っております。何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	4	0	3	・ぶつけた時などに丁寧な説明をいただき助かっています。 ・非常時の対応は契約時にご説明いただきました。	事故対応について、マニュアルに定め社内周知しております。事故発生時には迅速かつ適切な対応に努めてまいります。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	1	1	0	・先生がどなたも親切で丁寧なので子供も様々安心感を持って毎回通所できています。 ・行きたくないと言っている ・子供が初めて自宅外でトイレにいったのがそらでした。すごい自信になったようです。	お子さまが安心して過ごせるよう努めてまいります。

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行くのは嫌がりませんが、途中で飽きたり帰りがたったりすることはあります。 ・保育園よりも楽しみにしています。 ・毎回色々な遊びを取り入れてくださるため楽しいと言っていた。 ・教室に通って先生と活動することを楽しみに過ごしています。 	お子さまが楽しんで活動に参加できるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・長い目で見ていくことが必要だと思っていますが、具体的にどれくらいの期間で目標が達成されるのか、そのために自宅で意識すべきことなどをもつとこちらに伝えてほしいです。週1回の通所のフォローアップとして週6日の自宅での過ごし方のアドバイスもいただきたいと思います。 ・相談できる場所として保護者として心の拠り所的存在。子どもも楽しんでいる。 ・子供の興味のあることを取り入れて工夫をして、力を伸ばしていただいていると感じます。 ・清潔感、先生のクオリティが高いと思います 	今後とも事業所の運営・支援にご満足いただけることを目指し、スタッフ一同尽力してまいります。

【公表】事業所における自己評価(児童発達支援)

事業所名		スタジオそら東中野				公表日	2025年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	大部屋・小部屋・面談室の3つを用い調整しています。使用時間を分けて安全に留意しています。	今後も部屋の割り振りを事前に行い、十分なスペースを確保出来るように努めます	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	スケジュール作成時に適切に調整しています。	今後も安全管理を考慮した適切な配置が出来るように努めます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	段差や危険な場所では療育士が近くにいたり補助をできるようにしています。	手洗いの階段は段差が高く、躓く子どもが多い。すぐに触れられる距離にいたり、足元を見ることを促していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	月に一度のクレンリネスチェックを行っています。日々消毒・清掃を行っています。毎日の清掃を徹底していたり、危ないものは手の届かないところに置くなどしています。	引き続き日々の清掃と衛生管理に努めます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	クールダウンが必要な場合に空いている部屋がある状態になっています。	今後も必要に応じて部屋等を使用できるように環境を整えていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	半年に一度、面談で振り返りと目標設定を行っています。支援計画の立案などを全てのスタッフが関わっています。ミーティングなどで定期的に擦り合わせをしています。	引き続き業務改善の為の話し合いを実施します。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	評価表をスタッフ全員に共有し、意見の把握に努め、改善が必要な部分は研修を行っています。	ホームページにて公表をしていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日常的に発言しやすい雰囲気があるため、意見を言えることが多いです。	今後も、意見交換をする機会を設け、業務改善につなげていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		第三者評価は実施しておりません。行っていない事を知らないスタッフもいる為周知していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	多数のスタジオ合同の研修を行っています。スタジオ内での研修も行っています。	引き続き、スタジオにて想定される場面での対応練習や研修を行い資質の向上に努めます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援計画に基づいて作成しており、スタッフ間での共有、FB時に保護者様にお伝えをしています。	引き続き、より良い支援を行っていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	半年に一回以上のアセスメントを行い、客観的データと保護者とのヒヤリング面談の内容を基にスタッフ全員で協議し支援計画を作成しています。	引き続き、より良い支援計画の立案に努めます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	ケース会議を定期的に行い、ヒヤリング面談の内容も含め支援計画の見直しの為の職員・管理者とで話し合いを行っています。	引き続き、適正なケース会議や話し合いを実施します。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個人のファイルに支援計画入れて保管し、職員がすぐに確認できるようになっています。また実施内容や進捗を事前に職員間で共有しています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	フォーマルなアセスメントは初回時等に使用し、インフォーマルなアセスメントは支援計画更新時に使用し確認をしています。	引き続き、アセスメントを活用しより良い支援の実施に努めます。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	一人一人の状況に応じた内容でケース会議を行い、ガイドラインに準じた内容で設定しております。	引き続き、児童発達支援ガイドラインに対して理解が深まるよう、スタッフに周知していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	小集団の際は話し合いを行なって立案しています。個別時はスタッフ全員で情報共有を行なった後にプログラムを立案しています。全体で話し合いをしたり、個人で考える上での相談などをして決めています。	引き続き適切なプログラム作成に努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	前回情報をスタッフ間で共有してスモールステップを意識し活動をその都度変えています。共有の時間や、サービス提供記録から以前取り組んだ内容を確認をしたりしています。	各スタッフが行えるプログラムの拡充に努める等、固定化しないように工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	ヒアリング面談にて聞き取りを行い、ニーズに合わせて内容を作成しています。	引き続き、適切な個別支援計画の作成に努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼時に必ず打ち合わせを行い、来所されるお子様の情報共有や担当割り振りを行なっています。事前準備の際に必ず確認をしています。	引き続き、より良い支援ができるよう努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼時に必ず行い、保護者からのコメントや本日の療育での様子・実行方法の共有を行なっています。その日の様子をまとめて共有をしています。	今後も終礼時にその日の支援の振り返りと話し合いを行い、より良い支援の為に話し合いを行なっていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	評価を数値化し客観的な事実に基づき検証、改善を行なっています。サービス提供記録には具体的な活動内容の詳細を記入するようにしています。	引き続き客観的な評価に努め、適切な検証・改善に努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリングを定期的に行い、ヒアリング面談の内容も含めて支援計画の見直しの為に話し合いを行なっています。	引き続き適切なモニタリングを実施していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者が区の事例検討会に参加しております。	今後も積極的に参加していきます。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	協力医療機関は待ち合いに掲示しております。各区の障害福祉課や保育園・幼稚園と情報共有を行っています。	今後も適切な連携に努め支援を行う体制を整えていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	保護者からのご要望により、幼稚園等に情報共有を行っております。	今後も適切な情報共有と相互理解に努めます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	就学支援シートの記載を積極的に行なっています。	今後も詳細な記入を行なっていきます。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	事例検討会や電話連絡があった際には連携して助言を受けています。	引き続き、連携を図っていきます。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	現在は行われておりません。	機会はないが、外活動で場面があった際は適切な関わりを促すよう努めます。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎日療育の後のフィードバックの中で行なっています。フィードバックの際に、事業所以外での様子もお聞きしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	フィードバック時にお困りごとを聞き取りしスタジオで練習し、ご自宅でも出来る練習方法をお伝えしたり、保護者様からのご要望を受け面談を行っています。	本格的に行っていないので、研修等により手法の拡充に努めます。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に実施しています。また、待合室の掲示物を使用し説明しています。	引き続き、適切な説明を行います。

保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	支援計画作成前にヒアリング面談やメールにてご要望の聞き取りを行っています。	引き続き、より良い支援計画の立案に努めます。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	保護者には十分な説明をしてから同意をいただいています。	引き続き、適切な説明を行っていきます。
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	通常のフィードバックに加えて要望を頂いた際に柔軟に面談の機会を設けています。	引き続き、柔軟な対応に努めます。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		今後、ご要望に応じて実施を検討します。
	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談があった際には、迅速に対応するように心がけてます。また、電話やメールなどの相談に対応しています。	引き続き、迅速に対応できるよう努めています。
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	そら通信にて発信を行っています。また、事業所内にイベントの活動報告ポスターなど掲示しています。アプリにてイベント内容などの発信を行っています。	引き続き、情報の発信に努めます。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きの保管庫にて収納・管理しています。	今後も個人情報の厳重な取扱いに留意します。
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	傾聴の姿勢を心がけて意思の疎通に努めています。	引き続き、より適切なコミュニケーションに努めます。
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		スタジオ単位での実施はありません。必要に応じて検討します。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	事務室や待合室にマニュアルを設置し、周知に努めています。	声掛けなどを行い、マニュアルの周知に努めます。
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年2回の避難訓練を計画し、行っています。	より多くの方にご参加いただけるようにスケジュールを組んでいきます。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	フェイスシートにて情報の収集を行なっています。	引き続き、状況の把握に努めます。
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	フェイスシートにより、状況の把握に努めています。イベント等で食品を扱う際にはその都度確認しています。	今後も厳正な確認を実施していきます。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全管理計画を作成し、社内研修や訓練を実施しております。	引き続き、研修や訓練を行い、必要な措置を講じ安全に努めていきます。
	47	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	熱中症の危険時等にメールや電話でご家族へ周知をしています。	引き続き、取り組み内容を周知していきます。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	終礼時に共有を行い、スタッフ間での検討の場を設けています。	検討した際の結果や改善策など、スタッフ全員に周知できるように努めます。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に研修を実施し、常に子どもたちや保護者様のサインを見逃さないようにしています。	最新の動向なども把握し、日々虐待の防止に努めます。
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	必要な保護者には書面にて説明を行い、同意を得ています。また身体拘束が必要かどうかを定期的に協議する体制を整えています。	引き続き、身体拘束に関する適正な協議を行っていきます。